『ASRリチウム工法』 『リハビリカプセル工法』

2019年4月

ASRリチウム工法協会

| | | 工事名称 | 発注者 | 対象構造物 | 施工場所 | 劣化要因 | 試験結果等 | 備考 |
|----|--------|-----------------------------|---------------|-----------------------------|------|--------|--|--|
| 1 | 1999年度 | 高架柱部補修工事 | 民間 | 道路橋 橋脚1基(柱部) | 大阪府 | ASR | | ASRリチウム工法の前身である「AAR/Li工法」 としての試験施工 |
| 2 | 2000年度 | 橋脚修繕工事 | 民間 | 鉄道橋 橋脚1基(柱部) | 広島県 | ASR | | ASRリチウム工法の前身である「AAR/Li工法」 としての試験施工 |
| 3 | 2002年度 | 土留壁補修工事(その1) | 民間 | 擁壁 H4.5m×L60.0m | 大阪府 | ASR | | ASRリチウム工法の前身である「AAR/Li工法」 としての試験施工 |
| 4 | 2002年度 | 土留壁補修工事(その2) | 民間 | 擁壁 H4.5m×L30.0m | 大阪府 | ASR | | ASRリチウム工法の前身である「AAR/Li工法」 としての試験施工 |
| 5 | 2002年度 | 日御碕地区 砂防修繕工事 | 島根県 | 擁壁 H2.0m×L10.0m | 島根県 | ASR | | ASRリチウムエ法の前身である「リハビリ高圧注 入工法」としての試験施工 |
| 6 | 2002年度 | 設備基礎補修工事 | 民間 | 構造物基礎 L12.2m×B4.1m×H3.2m | 大阪府 | ASR | | ASRリチウム工法の前身である「AAR/Li工法」 としての試験施工 |
| 7 | 2002年度 | 2号奥山地区橋梁補修工事 | 国土交通省 近畿地整 | 道路橋 橋脚1基 橋台1基 | 兵庫県 | ASR | | ASRリチウム工法の前身である「AAR/Li工法」 としての試験施工 |
| 8 | 2003年度 | 海田高架橋 橋脚補強工事 | 国土交通省 中国地整 | 道路橋 橋脚7基(はり部) 橋台2基 | 広島県 | ASR | 残存膨張量(JCI-DD2) 施工前 : 0.045% 施工後 : 0.020% | ASRリチウム工法の前身である「リハビリ高圧注 入工法」としての施工 |
| 9 | 2004年度 | 地御前跨線橋 補修工事 | 国土交通省 中国地整 | 道路橋 橋脚1基(はり部) 橋台1基 | 広島県 | ASR·塩害 | | ASRリチウム工法の前身である「AAR/Li工法」 としての施工 ASRと塩害の複合劣化として適用された事例 |
| 10 | 2004年度 | 管内橋梁耐震補強工事の内 洞川橋 ASR対策工事 | 国土交通省 北陸地整 | 道路橋 橋脚1基 | 新潟県 | ASR | | 【ASRリチウム工法】 炭素繊維シート巻立て耐震補強に先立ち、橋脚 のASR膨張性低減を図った |

| | | 工事名称 | 発注者 | 対象構造物 | 施工場所 | 劣化要因 | 試験結果等 | 備考 |
|----|--------|---|---------------|--------------------------|------|--------|--|--|
| 11 | 2004年度 | 管内橋梁補修工事 (陶橋、西庄高架橋) | 国土交通省 四国地整 | 道路橋 橋台4基 | 香川県 | ASR | 残存膨張量(JCI-DD2) 施工前 : 0.081% 施工後 : 0.018% | 【ASRリチウム工法】 橋台背面からの水分遮断が困難であり、残存 膨張量も大きいため、従来工法では早期に再劣 化すると判断された |
| 12 | 2004年度 | 松浦大堰補修工事 | 国土交通省 九州地整 | 河口堰 堰柱(橋脚) 1基 | 佐賀県 | ASR•塩害 | | 【ASRリチウム工法】 ASRと塩害の複合劣化対策として適用された 平成25年の追跡調査で再劣化なし |
| 13 | 2004年度 | 小値賀地区広域漁港整備工事 (金毘羅大橋) | 長崎県 | 道路橋 橋脚3基(はり部) 橋台2基 | 長崎県 | ASR•塩害 | | 【ASRリチウム工法】 ASRと塩害の複合劣化対策として適用された |
| 14 | 2005年度 | 管内橋梁耐震補強工事の内 洞川橋 ASR対策工事(その2) | 国土交通省 北陸地整 | 道路橋 橋脚1基 | 新潟県 | ASR | | 【ASRリチウム工法】 炭素繊維シート巻立て耐震補強に先立ち、橋脚のASR膨張性低減を図った |
| 15 | 2005年度 | 一般国道432号 橋梁維持修繕工事 (中島橋) | 広島県 | 道路橋 橋台2基 | 広島県 | ASR | | 【ASRリチウム工法】 ASRの根本的対策として適用された |
| 16 | 2006年度 | 桟橋コンクリート補修工事 | 民間 | 桟橋 29.0m×12.0m×H2.5m | 兵庫県 | ASR | | 【ASRリチウム工法】 ASRの根本的対策として適用された |
| 17 | 2007年度 | 西広島バイパス廿日市高架橋Aランプ下部 外工事(御手洗橋) | 国土交通省 中国地整 | 道路橋 橋脚1基 橋台1基 | 広島県 | ASR | | 【ASRリチウム工法】 橋台背面からの水分遮断が困難であり、残存 膨張量も大きいため、従来工法では早期に再劣 化すると判断された |
| 18 | 2008年度 | 国道486号 橋梁補修工事(その1) (明泉寺大橋) | 広島県 | 道路橋 橋脚1基 橋台1基 | 広島県 | ASR | | 【ASRリチウム工法】 ASRの根本的対策として適用された |
| 19 | 2009年度 | 国道486号 橋梁補修工事(その2) (明泉寺大橋) | 広島県 | 道路橋 橋脚1基 橋台1基 | 広島県 | ASR | | 【ASRリチウム工法】 ASRの根本的対策として適用された |
| 20 | 2009年度 | 平成21年度 西庄跨線橋 橋梁補修外工事 | 国土交通省 四国地整 | 道路橋 橋台1基 | 香川県 | ASR | | 【ASRリチウム工法】 水分遮断が困難であり、残存膨張量も大きく、 JRを跨ぐ立地条件であるため、再劣化をさせな い工法選定がなされた |

| | | 工事名称 | 発注者 | 対象構造物 | 施工場所 | 劣化要因 | 試験結果等 | 備考 |
|----|--------|----------------------------------|---------------|--------------------------|------|---------|--|--|
| 21 | 2010年度 | 廿日市地区 榎浦大橋 補修工事 | 広島県 | 道路橋 橋脚1基(はり部) | 広島県 | ASR | | 【ASRリチウム工法】 過去になされたASR補修(断面修復工)の再劣化 に対し、ASRリチウム工法を適用 |
| 22 | 2010年度 | 第二東保見架道橋 橋台修繕工事 | 民間 | 鉄道橋 橋台1基 | 愛知県 | ASR•中性化 | | 【ASRリチウム工法】 ASR膨張抑制に加え、中性化による鉄筋腐食を 抑制するためにASRリチウム工法を適用 |
| 23 | 2010年度 | 県道河原郡家線橋梁修繕工事 (米岡小橋) | 鳥取県 | 道路橋 橋台1基 | 鳥取県 | ASR | 残存膨張量(JCI-DD2) 施工前 : 0.064% 施工後 : — % | 【ASRリチウム工法】 過去になされたASR補修(表面被覆工)の再劣 化に対し、ASRリチウム工法を適用 |
| 24 | 2011年度 | 石川架道橋 修繕工事 | 民間 | 鉄道橋 橋台1基 | 愛知県 | ASR•中性化 | | 【ASRリチウム工法】 ASR膨張抑制に加え、中性化による鉄筋腐食を 抑制するためにASRリチウム工法を適用 |
| 25 | 2011年度 | 臨海道路橋耐震補強工事(一ツ橋) | 愛媛県 | 道路橋 橋脚2基(はり部) 橋台2基 | 愛媛県 | ASR | | 【ASRリチウム工法】 耐震補強(落橋防止構造設置)に先立ち、当該 コンクリートのASR膨張性を抑制しておく必要が あった |
| 26 | 2012年度 | 下関(発)荷揚場他修繕工事 | 民間 | 桟橋 | 山口県 | 塩害 | | 【リハビリカプセル工法】 亜硝酸リチウムを内部圧入することにより、鉄筋 の不働態皮膜を再生させ、以後の鉄筋腐食進 行を抑制 |
| 27 | 2012年度 | 国道431号 湯村大橋 橋梁修繕工事 | 島根県 | 道路橋 橋台1基 | 島根県 | ASR | 残存膨張量(JCI-DD2) 施工前 : 0.065% 施工後 : 0.019% | 【ASRリチウム工法】【リハビリカプセル工法】 対象部材寸法に応じて、橋台竪壁にASRリチウム工法、パラペット及びウイングにリハビリカプセル工法を適用 |
| 28 | 2012年度 | 下松地区構造物補修工事 (八口跨道橋) | 国土交通省 中国地整 | 道路橋 橋台2基 上部工横桁 | 山口県 | ASR | | 【ASRリチウム工法】【リハビリカプセル工法】 対象部材寸法に応じて、橋台竪壁にASRリチウム工法、ウイングおよび上部工横桁にリハビリカプセル工法を適用 |
| 29 | 2012年度 | 筒石函渠工事(筒石橋) | 国土交通省 北陸地整 | 道路橋 橋脚1基 | 新潟県 | ASR | | 【ASRリチウム工法】 炭素繊維シート巻立て耐震補強に先立ち、橋脚 のASR膨張性低減を図った 施工前の残存膨張量0.420%(カナダ法) |
| 30 | 2012年度 | 堀岡小杉線(新下条川橋) 下部工補修工事 | 富山県 | 道路橋 橋脚1基 | 富山県 | ASR | | 【ASRリチウム工法】 複数の下部エに対し、残存膨張量の大きい橋 脚にはASRリチウム工法を、残存膨張量の小さ い橋台にはリハビリシリンダー工法を適用 |

| | | 工事名称 | 発注者 | 対象構造物 | 施工場所 | 劣化要因 | 試験結果等 | 備考 |
|----|--------|--|-----|----------------------------|------|--------|--|---|
| 31 | 2012年度 | 伊万里山内線道路整備橋梁補修工事(山 内高架橋 第1工区) | 佐賀県 | 道路橋 橋脚9基(はり部) 橋台1基 | 佐賀県 | ASR | 残存膨張量(JCI-DD2) 施工前 : 0.180% 施工後 : 0.012% | 【ASRリチウム工法】 過去になされたASR補修(表面被覆工、連続繊維シート接着工)の再劣化に対し、ASRリチウム 工法を適用 |
| 32 | 2012年度 | 主要県道光上関線単独橋梁補修工事(上 関大橋) | 山口県 | 道路橋 橋台2基 | 山口県 | ASR | | 【ASRリチウム工法】 特殊な箱式橋台で水分遮断が困難であり、残 存膨張量も大きいため、従来工法では早期に再 劣化すると判断された |
| 33 | 2012年度 | 県道屋島停車場屋島公園線 (大橋)道路維持修繕工事 | 香川県 | 道路橋 橋脚1基(はり部) 橋台2基 | 香川県 | ASR•塩害 | 残存膨張量(JCI-DD2) 施工前 : — % 施工後 : 0.039% | 【ASRリチウム工法】 残存膨張量が大きいため、従来工法では早期 に再劣化すると判断された 施工前の残存膨張量は0.411%(カナダ法) |
| 34 | 2012年度 | 県道綾歌綾川線 (御山大橋)道路整備工事 | 香川県 | 道路橋 橋脚5基(はり部) | 香川県 | ASR | 残存膨張量(JCI-DD2) 施工前 : 0.213% 施工後 : 0.008% | 【ASRリチウム工法】 残存膨張量が大きいため、従来工法では早期 に再劣化すると判断された |
| 35 | | 伊万里山内線道路整備橋梁補修工事(山 内高架橋 第2工区) | 佐賀県 | 道路橋 橋脚13基(はり部) | 佐賀県 | ASR | 残存膨張量(JCI-DD2) 施工前 : 0.180% 施工後 : 0.012% | 【ASRリチウム工法】 過去になされたASR補修(表面被覆工、連続繊維シート接着工)の再劣化に対し、ASRリチウム 工法を適用 |
| 36 | 2012年度 | 伊万里山内線道路整備橋梁補修工事(山 内高架橋 第3工区) | 佐賀県 | 道路橋 橋脚8基(はり部) 橋台1基 | 佐賀県 | ASR | 残存膨張量(JCI-DD2) 施工前 : 0.180% 施工後 : 0.012% | 【ASRリチウム工法】 過去になされたASR補修(表面被覆工、連続繊 維シート接着工)の再劣化に対し、ASRリチウム 工法を適用 |
| 37 | 2012年度 | 県道丸亀詫間豊浜線(石川橋)橋梁修繕工 事 | 香川県 | 道路橋 橋脚5基(はり部) | 香川県 | ASR | 残存膨張量(JCI-DD2) 施工前 : — % 施工後 : 0.007% | 【ASRリチウム工法】 歩道部の拡幅に伴う橋脚張出し部のみがASR による劣化を生じていた |
| 38 | 2012年度 | 県道屋島公園線外4線(源平橋外6橋)道路 整備工事(楠川橋) | 香川県 | 道路橋 橋台2基 | 香川県 | ASR | 残存膨張量(JCI-DD2) 施工前 : — % 施工後 : 0.026% | 【ASRリチウム工法】【リハビリカプセル工法】 対象部材寸法に応じて、橋台竪壁にASRリチウム工法、上部工横桁にリハビリカプセル工法を 適用 |
| 39 | 2012年度 | 県道東郷羽合線(一の宮橋)橋梁補修工事 (補助) | 鳥取県 | 道路橋 橋台2基(パラペット) RC床版 | 鳥取県 | 塩害 | 塩化物イオン量 3.0kg/m3 | 【リハビリカプセル工法】 内在塩分による塩害で劣化しており、補修工法 には劣化因子の遮断ではなく鉄筋腐食そのも のの抑制が要求された |
| 40 | 2012年度 | 一般県道勝田吉田線 道路災害防除工事 橋梁補修(久保橋) | 広島県 | 道路橋 橋脚1基 | 広島県 | ASR | | 【ASRリチウム工法】 ASRの根本的対策として適用された |

| | | 工事名称 | 発注者 | 対象構造物 | 施工場所 | 劣化要因 | 試験結果等 | 備考 |
|----|--------|---|---------------|------------------------------|------|--------|---|--|
| 41 | 2013年度 | 一般県道大野瀬小渡線(旭大橋)橋梁修繕 工事(1号工) | 愛知県 | 道路橋 橋台1基 | 愛知県 | ASR | | 【ASRリチウム工法】 耐震補強(落橋防止構造設置)に先立ち、当該 コンクリートのASR膨張性を抑制しておく必要があった |
| 42 | 2013年度 | 山口東部構造物外補修工事(柳川橋) | 国土交通省 中国地整 | 道路橋 橋台2基 | 山口県 | 塩害 | 塩化物イオン量 2.7kg/m3 | 【ASRリチウム工法】 塩害劣化した橋台にて、躯体前面側および背面 側の鉄筋防錆を目的として、躯体全体に亜硝酸 リチウムを圧入 |
| 43 | 2013年度 | 橋梁補修工事(市道八幡町21号線1号橋 梁) 篝大橋 | 三原市 | 道路橋 橋台2基 | 広島県 | ASR | | 【ASRリチウム工法】 ASRの根本的対策として適用された |
| 44 | 2013年度 | 県道小富士加布里線(弁天橋)橋梁補修工事(3工区) | 福岡県 | 道路橋 橋脚1基 | 福岡県 | 塩害 | 塩化物イオン量 3.4~6.8kg/m3 | 【リハビリカプセル工法】【ASRリチウム工法】 橋脚はり部の鉄筋腐食抑制のためにカプセル 式および油圧式の圧入工法を適用 |
| 45 | 2013年度 | 県道小富士加布里線(弁天橋)橋梁補修工事(4工区) | 福岡県 | 道路橋 橋脚1基 | 福岡県 | 塩害 | 塩化物イオン量 3.4~6.8kg/m3 | 【リハビリカプセル工法】【ASRリチウム工法】 橋脚はり部の鉄筋腐食抑制のためにカプセル 式および油圧式の圧入工法を適用 |
| 46 | 2013年度 | 一般県道萱平河崎線 東宮新橋 橋梁補修 工事 | 山形県 | 道路橋 橋脚1基 | 山形県 | ASR | 残存膨張量(JCI-DD2) 施工前 : — % 施工後 : 0.006% | 【ASRリチウム工法】 過年度の表面保護工が再劣化 施工前の残存膨張量0.247%(カナダ法) 橋脚の1/3の範囲に試験的に適用 |
| 47 | 2013年度 | (主)茅野北杜韮崎線 西沢川橋 橋梁耐震 補強工事 | 山梨県 | 道路橋 橋台1基、橋脚1基 RC床版 2径間 | 山梨県 | ASR•塩害 | 残存膨張量(JCI-DD2) 施工前 : — % 施工後 : 0.027% | 【リハビリカプセル工法】【ASRリチウム工法】 ASRと塩害の複合劣化であり、ASR膨張抑制お よび鉄筋腐食抑制を目的として亜硝酸リチウム 内部圧入工法を適用 |
| 48 | 2013年度 | H25馬土国道492号美·穴吹中瀬 橋梁修繕工事(中瀬橋) | 徳島県 | 道路橋 橋台1基 | 徳島県 | ASR | 残存膨張量(JCI-DD2) 施工前 : — % 施工後 : 0.024% | 【ASRリチウム工法】 A1、A2橋台ともにASR劣化しているが、残存膨 張量の大きいA2橋台のみに圧入 施工前の残存膨張量0.136%(カナダ法) |
| 49 | 2013年度 | 県道郡家鹿野気高線橋梁補修工事(船久 橋) | 鳥取県 | 道路橋 PC上部工(横桁) | 鳥取県 | ASR | | 【リハビリカプセル工法】 PC上部工の横桁(30N/mm2)のASR劣化に対し、リハビリカプセル工法を適用 |
| 50 | 2013年度 | 和食川特定構造物改築工事(その1) | 高知県 | ボックスカルバート | 高知県 | 塩害 | 塩化物イオン量 2.5kg/m3 | 【リハビリカプセル工法】 沿岸部に位置するボックスカルバートの塩害補 修としてリハビリカプセルエ法を適用 |

| | | 工事名称 | 発注者 | 対象構造物 | 施工場所 | 劣化要因 | 試験結果等 | 備考 |
|----|--------|------------------------------------|-----|------------------|------|--------|---|--|
| 51 | 2013年度 | 和食川特定構造物改築工事(その2) | 高知県 | ボックスカルバート | 高知県 | 塩害 | 塩化物イオン量 2.5kg/m3 | 【リハビリカプセル工法】 沿岸部に位置するボックスカルバートの塩害補 修としてリハビリカプセルエ法を適用 |
| 52 | 2013年度 | 送電線鉄塔基礎補修工事 No.78 | 民間 | 送電線鉄塔構造物基礎 | 福岡県 | ASR | | 【ASRリチウム工法】 過去になされたASR補修(表面被覆工)の再劣化 に対し、ASRリチウム工法を適用 |
| 53 | 2014年度 | 針尾橋 補修工事 | 長崎県 | 道路橋 橋脚2基 | 長崎県 | 塩害・ASR | | 【リハビリカプセル工法】 塩害による鉄筋腐食の抑制と将来的なASR抑制の両方の効果を期待してリハビリカプセルエ 法を適用 |
| 54 | 2014年度 | 国際拠点港湾広島港(宇品地区)第一桟橋補修工事 | 広島県 | 桟橋 橋脚 | 広島県 | 塩害 | | 【リハビリカプセル工法】 ひび割れ注入工をした後に下地処理をし、カプセルを設置して亜硝酸リチウムを圧入した。仕上げはケイ酸系含浸材を塗布。 |
| 55 | 2014年度 | 神明橋りょう補修工事 | 民間 | 鉄道橋 RC桁 2本 | 愛知県 | 塩害 | 塩化物イオン量 3.9kg/m3 | 【リハビリカプセル工法】 RC主桁のかぶりコンクリートをはつりとることなく鉄筋腐食を抑制するためにリハビリカプセル 工法を適用 |
| 56 | 2014年度 | 国道314号 仁多大橋 防災安全交付金(橋梁修繕)工事 | 島根県 | 道路橋 橋台2基 橋脚1基 | 島根県 | ASR | 残存膨張量(JCI-DD2) 施工前 : — % 施工後 : 0.024% | 【ASRリチウム工法】 ASRの根本的な補修としてASRリチウム工法を 適用 施工前の残存膨張量0.280%(カナダ法) |
| 57 | 2014年度 | 県道郡家鹿野気高線外(新橋 外)橋梁修繕 工事 | 鳥取県 | 道路橋 RC桁 RC床版 | 鳥取県 | 中性化 | | 【リハビリカプセル工法】 中性化による鉄筋腐食進行を根本的に抑制するためにリハビリカプセル工法を適用 |
| 58 | 2014年度 | 県道渡津屋崎線 新天橋 橋梁下部工補修 工事 | 福岡県 | 道路橋 橋脚2基 | 福岡県 | 塩害 | 塩化物イオン量 6.96kg/m3 | 【リハビリカプセル工法】【ASRリチウム工法】 河口付近の橋梁下部工の鉄筋腐食抑制のため にカプセル式および油圧式の圧入工法を適用 |
| 59 | 2014年度 | 県道小富士加布里線(弁天橋)橋梁補修工事(5工区) | 福岡県 | 道路橋 橋脚2基 | 福岡県 | 塩害 | 塩化物イオン量 3.4~6.8kg/m3 | 【ASRリチウム工法】 干満の影響を受け、含水率の高い橋脚はり部 の鉄筋腐食抑制のためにASRリチウム工法を 適用 |
| 60 | 2014年度 | 和食川特定構造物改築工事(その3) | 高知県 | ボックスカルバート | 高知県 | 塩害 | 塩化物イオン量 2.5kg/m3 | 【リハビリカプセル工法】 沿岸部に位置するボックスカルバートの塩害補 修としてリハビリカプセルエ法を適用 |

| | | 工事名称 | 発注者 | 対象構造物 | 施工場所 | 劣化要因 | 試験結果等 | 備考 |
|----|--------|---|--------------|------------------------|------|--------|--|--|
| 61 | 2014年度 | 送電線鉄塔基礎補修工事 No.69 | 民間 | 送電線鉄塔構造物基礎 | 福岡県 | ASR | | 【ASRリチウム工法】 過去になされたASR補修(表面被覆工)の再劣化 に対し、ASRリチウム工法を適用 |
| 62 | 2014年度 | 送電線鉄塔基礎補修工事 No.75 | 民間 | 送電線鉄塔構造物基礎 | 福岡県 | ASR | | 【ASRリチウム工法】 過去になされたASR補修(表面被覆工)の再劣化 に対し、ASRリチウム工法を適用 |
| 63 | 2014年度 | 揷頭橋 橋梁補修工事 | 綾川町 (香川県) | 道路橋(跨線橋) 箱式橋台1基 | 香川県 | ASR•塩害 | 残存膨張量(JCI-DD2) 施工前 : 0.070% 施工後 : 0.039% | 【ASRリチウム工法】 鉄道に近接した竪壁部にASRリチウム工法を 適用 |
| 64 | 2014年度 | (主)斐川一畑大社線 灘橋 防災安全交付金(橋梁修繕)工事 | 島根県 | 道路橋 橋脚9基 | 島根県 | ASR | 残存膨張量(JCI-DD2) 施工前 : — % 施工後 : 0.024% | 【ASRリチウム工法】 過去になされたASR補修(表面被覆工)の再劣化に対し、ASRリチウム工法を適用 |
| 65 | 2014年度 | 苅田港南港地区 新港橋 橋梁補修工事 | 福岡県 | 道路橋 橋脚(梁部)1基 | 福岡県 | ASR | | 【ASRリチウム工法】 橋脚の梁部のASR対策としてASRリチウム工 法を適用 |
| 66 | 2014年度 | 苅田港南港地区 新港橋橋梁補修工事(2 工区) | 福岡県 | 道路橋 橋脚(フーチング、柱部) 1基 | 福岡県 | ASR | | 【ASRリチウム工法】 橋脚のフーチングおよび柱部のASR対策として ASRリチウム工法を適用 |
| 67 | 2015年度 | 里港荒切川補修 | 鹿児島県 | 桟橋 | 鹿児島県 | ASR·塩害 | | 【リハビリカプセル工法】 |
| 68 | 2015年度 | (主)松江島根線 石井橋 防災安全交付金 (橋梁修繕)工事 | 島根県 | 道路橋 橋台1基 | 島根県 | ASR | 残存膨張量(JCI-DD2) 施工前 : 0.092% 施工後 : 0.016% | 【ASRリチウム工法】 ASRの根本的な補修としてASRリチウム工法を 適用 |
| 69 | 2015年度 | 県道小富士加布里線(弁天橋)橋梁補修工 事(6工区) | 福岡県 | 道路橋 橋脚2基 | 福岡県 | 塩害 | 塩化物イオン量 3.4~6.8kg/m3 | 【ASRリチウム工法】 干満の影響を受け、含水率の高い橋脚はり部 の鉄筋腐食抑制のためにASRリチウム工法を 適用 |
| 70 | 2015年度 | 寝屋川南部地下河川 今川立坑 補修工事 | 大阪府 | RCケーソン | 大阪府 | ASR | | 【ASRリチウム工法】 RCケーソンのASR対策としてASRリチウム工 法を適用 |

| | | 工事名称 | 発注者 | 対象構造物 | 施工場所 | 劣化要因 | 試験結果等 | 備考 |
|----|--------|------------------------------------|---------------|---------------------|------|--------|--|---|
| 71 | 2015年度 | 浜玉橋 耐震補強工事 | 国土交通省 九州地整 | 道路橋 橋台1基、橋脚2基 | 佐賀県 | 塩害 | 塩化物イオン量 3.72kg/m3 | 【リハビリカプセル工法】 河口付近の橋梁下部工の鉄筋腐食抑制のため に巻立て前にカプセル式の圧入工法を適用 |
| 72 | 2015年度 | 小浜橋 耐震補強工事 | 国土交通省 九州地整 | 道路橋 橋脚3基 | 佐賀県 | 塩害・ASR | 塩化物イオン量 3.42kg/m3 | 【リハビリカプセル工法】 橋梁下部工の鉄筋腐食抑制およびASR対策として巻立て前にカプセル式の圧入工法を適用 |
| 73 | 2015年度 | 平井前橋りょう補修工事 | 民間 | 鉄道橋 RC桁 4本 | 愛知県 | 塩害 | 塩化物イオン量 4.09kg/m3 | 【リハビリカプセル工法】 RC主桁のかぶりコンクリートをはつりとることなく鉄筋腐食を抑制するためにリハビリカプセル 工法を適用 |
| 74 | 2015年度 | 百済赤部線函渠 | 広陵町 | 道路橋 ボックスカルバート 1基 | 奈良県 | 中性化 | | 【リハビリカプセル工法】 中性化による鉄筋腐食進行を根本的に抑制するためにリハビリカプセル工法を適用 |
| 75 | 2015年度 | あすか野1号橋 | 生駒市 | 道路橋 橋台1基 | 奈良県 | 中性化 | | 【リハビリカプセル工法】 中性化による鉄筋腐食進行を根本的に抑制するためにリハビリカプセル工法を適用 |
| 76 | 2015年度 | 大須橋 | 江田島市 | 道路橋 橋台1基 | 広島県 | 塩害 | 塩化物イオン量 5.12kg/m3 | 【リハビリカプセル工法】 沿岸部に位置する道路橋橋台の塩害補修とし てリハビリカプセルエ法を適用 |
| 77 | 2015年度 | 27年度 第2屋仁橋 橋梁補修工事 | 鹿児島県 | 道路橋 橋台、橋脚 | 鹿児島県 | ASR•塩害 | | 【リハビリカプセル工法】 |
| 78 | 2015年度 | 第2号県単橋梁整備(通常分)工事 (花天橋) | 鹿児島県 | 道路橋 橋台、橋脚 | 鹿児島県 | ASR•塩害 | | 【リハビリカプセル工法】 |
| 79 | 2016年度 | 松江島根線 奧谷橋 防災安全交付金(橋梁修繕)工事 | 島根県 | 道路橋 橋台1基 | 島根県 | ASR | 残存膨張量(JCI-DD2) 施工前 : 0.092% 施工後 : 0.018% | 【ASRリチウム工法】 ASRの根本的な補修として内部圧入工を適用 |
| 80 | 2016年度 | 屋島大橋 橋梁修繕工事 | 高松市 | 道路橋 橋台1基、橋脚1基 | 香川県 | ASR | | 【ASRリチウム工法】 複数の下部工のうち、残存膨張量の有害なもの だけを内部圧入工の対象とした 施工前の残存膨張量0.405%(カナダ法) |

| | | 工事名称 | 発注者 | 対象構造物 | 施工場所 | 劣化要因 | 試験結果等 | 備考 |
|----|--------|--|---------------|------------------|------|------|--|---|
| 81 | 2016年度 | 大鰐温泉駅構内 大鰐跨線橋 補修他工事 | 民間 | 道路橋 橋脚1基 | 青森県 | ASR | | 【ASRリチウム工法】 ASRと凍害の複合劣化であり、ASRの進行が凍 害を助長していたため、根本的なASR補修とし て適用 |
| 82 | 2016年度 | 小浜橋 2期工事 | 国土交通省 九州地整 | 道路橋 橋脚2基 | 佐賀県 | 塩害 | 塩化物イオン量 | 【リハビリカプセル工法】 橋梁下部工の鉄筋腐食抑制およびASR対策と して巻立て前にカプセル式の圧入工法を適用 |
| 83 | 2016年度 | 国道184号 高貝橋 橋梁修繕工事 | 島根県 | 道路橋 橋台1基、橋脚1基 | 島根県 | ASR | | 【ASRリチウム工法】 ASRの根本的な補修として内部圧入工を適用 |
| 84 | 2016年度 | 国道432号 新吞谷橋防災安全交付金(橋梁修繕)工事 第1期 | 島根県 | 道路橋 橋台1基 | 島根県 | ASR | 残存膨張量(JCI-DD2) 施工前 : — % 施工後 : 0.017% | 【ASRリチウム工法】 ASRの根本的な補修として内部圧入工を適用 |
| 85 | 2016年度 | 和久今宿線 橋梁耐震 京見橋 橋梁補修工事 | 兵庫県 | 道路橋 橋台2基、橋脚3基 | 兵庫県 | ASR | 残存膨張量(JCI-DD2) 施工前 :0.051%(28日) 施工後 : 0.020% | 【ASRリチウム工法】 ASRの根本的な補修として内部圧入工を適用 |
| 86 | 2016年度 | 県道小富士加布里線(弁天橋)橋梁補修工 事(7工区) | 福岡県 | 道路橋 橋脚1基 | 福岡県 | 塩害 | 塩化物イオン量 3.4~6.8kg/m3 | 【ASRリチウム工法】 干満の影響を受け、含水率の高い橋脚はり部 の鉄筋腐食抑制のためにASRリチウム工法を 適用 |
| 87 | 2016年度 | 桟橋コンクリート補修工事 | 民間 | 桟橋 | 兵庫県 | ASR | | 【ASRリチウム工法】 ASRの根本的な補修として内部圧入工を適用 |
| 88 | 2016年度 | 屋島大橋 橋梁修繕工事(2工区) | 高松市 | 道路橋 橋脚9基 | 香川県 | ASR | | 【ASRリチウム工法】 複数の下部工のうち、残存膨張量の有害なもの だけを内部圧入工の対象とした 施工前の残存膨張量0.405%(カナダ法) |
| 89 | 2016年度 | 浜玉橋 2期工事(その1) | 国土交通省 九州地整 | 道路橋 橋脚1基 | 佐賀県 | 塩害 | 塩化物イオン量 | 【リハビリカプセル工法】 河口付近の橋梁下部工の鉄筋腐食抑制のため に巻立て前にカプセル式の圧入工法を適用 |
| 90 | 2016年度 | 浜玉橋 2期工事(その2) | 国土交通省 九州地整 | 道路橋 橋脚1基 | 佐賀県 | 塩害 | 塩化物イオン量 | 【リハビリカプセル工法】 河口付近の橋梁下部工の鉄筋腐食抑制のため に巻立て前にカプセル式の圧入工法を適用 |

| | | 工事名称 | 発注者 | 対象構造物 | 施工場所 | 劣化要因 | 試験結果等 | 備考 |
|-----|--------|---|--------------|---------------------------|------|-------------------------------|---|---|
| 91 | 2017年度 | 国道432号 新吞谷橋防災安全交付金(橋梁修繕)工事 第2期 | 島根県 | 道路橋 橋台1基 | 島根県 | ASR | 残存膨張量(JCI-DD2) 施工前 : — % 施工後 : 0.011% | 【ASRリチウム工法】 ASRの根本的な補修として内部圧入工を適用 |
| 92 | 2017年度 | (主)玉湯吾妻山線 花仙橋 防災安全交付金 (橋梁修繕)工事 | 島根県 | 道路橋 橋台2基、橋脚1基 | 島根県 | ASR | 残存膨張量(JCI-DD2) 施工前 : — % 施工後 : 0.004% | 【ASRリチウム工法】 ASRの根本的な補修として内部圧入工を適用 施工前の残存膨張量0.210%(カナダ法) |
| 93 | 2017年度 | 市道嫁島公園線 嫁島高架橋 下部工補修工 事 | 松江市 | 道路橋 橋脚4基 | 島根県 | ASR | 残存膨張量(JCI-DD2) 施工前 : — % 施工後 : 0.024% | 【ASRリチウム工法】 ASRの根本的な補修として内部圧入工を適用 |
| 94 | 2017年度 | 市道嫁島公園線 嫁島高架橋 下部工補修工 事 その2 工事 | 松江市 | 道路橋 橋脚2基 | 島根県 | ASR | 残存膨張量(JCI-DD2) 施工前 : — % 施工後 : 0.024% | 【ASRリチウム工法】 ASRの根本的な補修として内部圧入工を適用 |
| 95 | 2017年度 | 高砂大橋 耐震補修工事 | 高砂市 | 道路橋 橋脚1基 | 兵庫県 | ASR・塩害 塩化物イオン量 3.8kg/m3 | 残存膨張量(JCI-DD2) 施工前 : — % 施工後 : 0.022% | 【ASRリチウム工法】 ASRの根本的な補修として橋脚梁部および柱部 に内部圧入工を適用 施工前の残存膨張量0.252%(カナダ法) |
| 96 | 2017年度 | 平成29年度 太陽橋 橋梁補修工事 | 知夫村 (隠岐島) | 道路橋 橋台1基、橋脚1基 | 島根県 | ASR | | 【ASRリチウム工法】【リハビリカプセル工法】 対象部材寸法に応じて、橋台、橋脚にASRリチウム工法、ウイングにリハビリカプセル工法を適用 |
| 97 | 2017年度 | みなと大橋補修工事 | 福岡市 | 道路橋 橋台1基 | 福岡県 | 塩害 | 塩化物イオン量 3.4kg/m3 | 【ASRリチウム工法】 干満の影響を受け、含水率の高い橋台の鉄筋 腐食抑制のためにASRリチウム工法を適用 |
| 98 | 2017年度 | 送電線 鉄塔基礎 補修工事 No.40 | 民間 | 送電線鉄塔構造物基礎 | 佐賀県 | ASR | | 【ASRリチウム工法】 過去になされたASR補修(表面被覆工)の再劣化 に対し、ASRリチウム工法を適用 |
| 99 | 2017年度 | H29徳土 和田島赤石線 和田津橋 橋梁修繕工事 | 徳島県 | 道路橋 主桁、横桁 橋台2基、橋脚2基 | 徳島県 | 塩害 | 塩化物イオン量 2.33~6.75kg/m3 | 【リハビリカプセル工法】 主桁および下部工の鉄筋腐食抑制のためにカ プセル式の圧入工法を適用 |
| 100 | 2017年度 | 県道大栄赤碕線(加勢蛇橋) 橋梁補強工事(1工区) | 鳥取県 | 道路橋 橋脚2基 | 鳥取県 | 塩害 | 塩化物イオン量 3.49kg/m3 | 【リハビリカプセル工法】 河口付近の橋梁下部工の鉄筋腐食抑制のため に巻立て前にカプセル式の圧入工法を適用 |

| | | 工事名称 | 発注者 | 対象構造物 | 施工場所 | 劣化要因 | 試験結果等 | 備考 |
|-----------------|--------|---|-----|-------------|------|------|----------------------|---|
| 10° | 2018年度 | 松江鹿島美保関線 小女良橋 防災安全交付金(橋梁耐震)工事 | 島根県 | 道路橋 橋脚2基 | 島根県 | ASR | | 【ASRリチウム工法】 ASRの根本的な補修として内部圧入工を適用 |
| 102 | 2018年度 | 亀田越後石山間 北山跨線橋 補修 | 民間 | 道路橋 橋脚2基 | 新潟県 | ASR | | 【ASRリチウム工法】 ASRの根本的な補修として内部圧入工を適用 |
| 103 | 2018年度 | 県道小富士加布里線(弁天橋)橋梁耐震補 強工事 | 福岡県 | 道路橋 橋脚1基 | 福岡県 | 塩害 | 塩化物イオン量 1.98kg/m3 | 【ASRリチウム工法】 干満の影響を受け、含水率の高い橋脚はり部 の鉄筋腐食抑制のためにASRリチウム工法を 適用 |
| 104 | 2018年度 | 送電線 鉄塔基礎 補修工事 No.50 | 民間 | 送電線鉄塔構造物基礎 | 佐賀県 | ASR | | 【ASRリチウム工法】 過去になされたASR補修(表面被覆工)の再劣化に対し、ASRリチウム工法を適用 |
| 10! | 2018年度 | 屋島大橋 橋梁修繕工事(3工区) | 高松市 | 道路橋 橋脚1基 | 香川県 | ASR | | 【ASRリチウム工法】 複数の下部工のうち、残存膨張量の有害なもの だけを内部圧入工の対象とした 施工前の残存膨張量0.405%(カナダ法) |
| 100 | 2018年度 | 県道厳城上灘線(厳城橋)橋梁補強工事(4 工区) | 鳥取県 | 道路橋 橋脚2基 | 鳥取県 | ASR | | 【ASRリチウム工法】 過去になされたASR補修(表面被覆工)の再劣化 に対し、ASRリチウム工法を適用 |
| 10 ⁻ | 2018年度 | 県道大栄赤碕線(加勢蛇橋) 橋梁補強工事(2工区) | 鳥取県 | 道路橋 橋脚3基 | 鳥取県 | 塩害 | 塩化物イオン量 3.49kg/m3 | 【リハビリカプセル工法】 河口付近の橋梁下部工の鉄筋腐食抑制のため に巻立て前にカプセル式の圧入工法を適用 |
| 108 | 2018年度 | 市道嫁島公園線 嫁島高架橋 下部工補修工 事 その3工事 | 松江市 | 道路橋 橋脚1基 | 島根県 | ASR | | 【ASRリチウム工法】 ASRの根本的な補修として内部圧入工を適用 |
| 109 | 2018年度 | 県道倉吉青谷線(地赤橋)橋梁補修工事(1 工区) | 鳥取県 | 道路橋 橋台1基 | 鳥取県 | ASR | | 【ASRリチウム工法】 過去になされたASR補修の再劣化に対し、ASR リチウム工法を適用 |
| 110 | 2018年度 | 出雲八代出雲三成側道橋新設他 八代跨線橋 補修 | 民間 | 道路橋 橋台1基 | 島根県 | ASR | | 【ASRリチウム工法】 ASRの根本的な補修として内部圧入工を適用 |

| | | 工事名称 | 発注者 | 対象構造物 | 施工場所 | 劣化要因 | 試験結果等 | 備考 |
|----|----------|-----------------------------|---------------|------------------|------|--------|----------------------|---|
| 11 | 1 2018年度 | 平成30年度 太陽橋 橋梁補修工事 | 知夫村(隠岐島) | 道路橋 橋台1基、橋脚1基 | 島根県 | ASR | | 【ASRリチウム工法】 ASRの根本的な補修として内部圧入工を適用 |
| 11 | 2 2018年度 | 国道54号 滝谷川橋 外橋梁補修工事 | 国土交通省 中国地整 | 道路橋 橋台2基 | 島根県 | ASR | | 【ASRリチウム工法】 ASRの根本的な補修として内部圧入工を適用 施工前の残存膨張量0.134%(カナダ法) |
| 11 | 3 2018年度 | 交付金活用橋梁修繕事業 山光橋 修繕工事 | 雲南市 | 道路橋 橋台1基 | 島根県 | ASR•塩害 | 塩化物イオン量 2.95kg/m3 | 【リハビリカプセル工法】 下部工の鉄筋腐食抑制のためにカプセル式の 圧入工法を適用 |
| 11 | 4 2018年度 | 御島橋 外橋梁補修工事 | 国土交通省 九州地整 | 道路橋 橋脚1基 | 福岡県 | 塩害 | 塩化物イオン量 6.6kg/m3 | 【リハビリカプセル工法】 下部工の鉄筋腐食抑制のためにカプセル式の 圧入工法を適用 |
| 11 | 5 2018年度 | みなと大橋補修その2工事 | 福岡市 | 道路橋 橋台1基 | 福岡県 | 塩害 | 塩化物イオン量 3.4kg/m3 | 【ASRリチウム工法】 干満の影響を受け、含水率の高い橋台の鉄筋 腐食抑制のためにASRリチウム工法を適用 |
| 11 | 6 2018年度 | 金生地区構造物工事(須川橋) | 国土交通省 東北地整 | 道路橋 橋台1基 | 山形県 | ASR | | 【ASRリチウム工法】 ASRの根本的な補修として内部圧入工を適用 施工前の残存膨張量0.315%(カナダ法) |
| 11 | 7 2018年度 | 四国中央市橋梁下部耐震補強外工事 本谷橋 | 国土交通省 四国地整 | 道路橋 橋脚3基 | 愛媛県 | 塩害 | 塩化物イオン量 5.06kg/m3 | 【リハビリカプセル工法】 下部工の巻立て前に鉄筋腐食抑制としてカプセル式の圧入工法を適用 |
| 11 | 8 | | | | | | | |
| 11 | 9 | | | | | | | |
| 12 | 0 | | | | | | | |